

平成 24 年度第 2 回おきなわ脳卒中地域連携委員会総会 議事録

日 時：平成 24 年 10 月 5 日（金） 19：00～21：00

場 所：沖縄県医師会館

参加者：137名（医師29名、看護師34名、リハスタッフ31名
MSW30名、その他13名）

1. 全体総会

(1) 挨拶

おきなわ脳卒中地域連携委員会委員長より挨拶が行われた。

(2) パスシートの分析結果報告について

おきなわ脳卒中地域連携委員会幹事よりパスシートの分析結果報告が行われた（詳細は当日配布資料を参照）。

はじめに、おきなわ脳卒中地域連携パスのデータを用いた、脳卒中の最新の実態像について説明が行われた。また、今回の分析は、「脳卒中病型別症例割合」「急性期および回復期の在院日数、ADLスコア」に焦点を絞り集計・分析しており、その分析結果について報告された。

今後の展開として、対象施設を増やし、悉皆性を高めることで、沖縄県の脳卒中について、さらに正確な実態を把握できることが期待できると述べられた。

2. 各部会（医師部会、看護師部会、リハビリ部会、MSW 部会）

各部会に分かれ、それぞれの課題等について検討を行った（検討結果は、各部会報告へ記載）。

3. 各部会報告

【医師部会】

- ・連携パスに参加する意義について、パスを完成する上で急性期・回復期・維持期の参加が必要なこと、また、連携委員会において、各ステージの医師が顔と顔で繋がるようになることが重要である確認された。

- ・回復期より、急性期から回復期に患者が転院する際に、患者の情報不足や情報が不正確であるという意見があった。例えば、連携パスの情報は来ているが、その他の診療情報が提供されていない場合がある。情報の精度を増すことが重要であるため、急性期側にも配慮いただくこととした。

- ・回復期から維持期への連携の際に、家族力が大きく関係するという意見があった。回

復期から維持期に通院する患者が 5~6 割、2~3 割が老人ホーム等の施設に入居するという報告があり、維持期に患者があまり回っていないという現状を把握できた。

・部会のあり方について、現行の職種間別だけではなく、テーマ別、ステージ別、地域別での案があげられたので、幹事会でも検討いただきたい。

【看護師部会】

・部会のあり方について、職種間別と固めず、いろいろな職種を混ぜた部会を持ちたい。また、現行の職種間別部会については、パスの運用・改訂に関する情報、意見交換の場としていきたい。

・今回北部地区の維持期の参加があった。今回のように、各地域の意見が集まると部会としていいものができると思う。

【リハビリ部会】

- ・今回、22 施設からの参加があった。（うち、北部地区からの参加もあった。）
- ・現行の部会のあり方について、5、6 人に分かれて（ステージ別又は地域別等）、最後にリハビリ部会として統括を行うという意見があった。
- ・職種間を越えた部会については、ある程度、テーマが決まっているといいのではないかという意見があった。
- ・維持期施設（今回 3 施設の参加があった）から、維持期のパスシートは医師の記載が中心で、リハビリが直接記入する項目がないため、どういう形で関わっていけばいいか、わからないとの意見があった。

【MSW 部会】

- ・九州厚生局への施設基準の届け出が一部簡素化されたとの報告があった。
- ・MSW だけではなく、施設基準を担当する事務職等も参加しやすいよう、名称の変更を行いたいとの提案があり、名称を「MSW・事務部会」としたいので幹事会においても承認いただきたい。
- ・現行の部会の人数が増えたため、地区（中北部地区、南部地区）ごとにグループ分けをすることとした。

4. 総括

おきなわ脳卒中地域連携委員会委員長より、次のとおり総括された。

医師部会では、多くの医師の参加が見られ、脳卒中の患者を地域でみる環境としては良くなったと考える。

また、パスシートの分析結果報告でもあったように、急性期病院の平均在院日数が 20～30 日、回復期病院の平均在院日数が 100 日前後となっており、急性期病院・回復期病院合わせて 120 日前後の在院日数ということであった。おきなわ脳卒中地域連携パスは、急性期病院と回復期病院から始まったものだが、患者の長い生活を考えると維持期施設への二次予防等の教育、情報交換といった取り組みが今後、重要と考える。

看護・リハビリ部会では、部会のあり方について、テーマ別や地域別等の開催について意見があがった。部会のあり方については、今後も引き続き検討を行い、幹事会で決定していく。

MSW 部会では、部会の名称変更について提案があった。MSW 部会は、MSW だけではなく、事務職も参加している現状であるため、部会の名称変更については幹事会にて決定したい。

次回総会については、講演会後の懇親会を企画している。懇親会では、職種間を越えた意見交換や交流を行っていただきたいので、多くの方の参加を募りたい。